

大連視察ツアーに参加して

佐藤 亮太

2024年3月5日~3月9日にかけて開催された第2回大連視察ツアーに参加しました。ツアーの目的は中国(大連)の現状を体感し、国際感覚を養うことで、日本での生活・日常と比較し私が感じたことをお伝えします。

1つ目は大連市の街並みです。空港からホテルまでの車窓から眺める街並みは、どこも車道が広く、車と歩行者の多さに圧倒されました。中国の人口は日本の10倍以上という認識はありましたが、実際に目の当たりにすると中国という国と市場の大きさを一瞬で理解出来ました。まさしく百聞は一見に如かずで、中国に関心がある企業・個人は一度中国へ訪問することをお勧めしたいです。車種や建築物は日本と異なる点が多く、街路樹も日本より大きく、近隣国でありながら異国の地であることも感じました。

2つ目はショッピングモールや市場です。ショッピングモールはホテルから徒歩圏内に数店舗あり、そのどれもが日本のショッピングモールと同規模以上の大きさであったため、ここでも人口の多さを実感しました。店内の雰囲気は日本の店舗と似ており多くの共通点も感じましたが、EV車の展示(1つのモールに15店舗)や金を取扱いする宝飾店が何店舗も並んでいるなど、日本では見られない光景もありました。宝飾店の商品陳列から、①金、②ダイヤモンド、③真珠の順に人気があることが理解でき、日本と中国の消費者ニーズの違いも感じました。市場や食品コーナー、地下街などは、日本と同じ光景でしたが、食品価格は日本より安く、惣菜コーナーでは豚肉を扱う店舗が多く、調理も初めて見るものばかりでした。

3つ目は企業訪問です。訪問先は私の仕事に近い業種ということもあり、社内見学で多くのヒントを得ることができました。日本企業と取引している企業で、高精度な機械加工を行っていました。一方で、作業の進捗管理や社員の工数管理にご苦労されており、私の会社でも同様の課題に取り組んでいるため、国は違っても業界の課題は共通であることに少し親近感が湧きました。言葉の問題はありますが、日本企業と中国企業とのビジネス展開について私のハードルは下がりました。

最後になりましたが、視察ツアーの運営に携わられた皆様並びに同行された皆様方には大変お世話になりました。特にツアー中の食事は、日本で食べたことの無いものばかりでしたが、どれも非常においしく、また中国に行ってみたいと思うようになりました。私にとって初めての中国渡航でしたが、非常に充実した日々でした。ありがとうございました。